

科目名	医療倫理学特論			担当教員名	平河 勝美、霜田 求	
該当DP	3	単位数	1単位	必修	配当年次	1年次・第1 Semester (後半)
曜日・時限	木曜日・5限目			教室	オンライン授業	
授業概要	臨床医療現場で生じる生と死に関する具体的な問題について、「倫理的に考えること・議論すること・自分なりの考えをまとめること」の修得を目指す。授業では、医療倫理について基本的な枠組を確認した上で、生と死に関する具体的なトピックスを取り上げる(霜田)と共に、患者と家族に生じるジレンマの状況について医療倫理の観点で話し合い、自分の考えを言語化する(平河)。					
到達目標	1) 臨床医療現場における倫理的問題の枠組みとなる「倫理」について説明できる。 2) 臨床医療現場における生と死に関わる倫理的諸問題について概略を述べ、議論し、自分なりの考えをまとめることができる。 3) 医療倫理を対話的に検討する方法とその意義について理解できる。 4) 患者と家族の問題状況を医療倫理の観点から検討し、他者の意見を参照して、自分の意見をまとめることができる。					
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1	6/20	医療倫理とは(霜田)	臨床医療現場において問題となる「倫理」の枠組みについて、具体的事例を挙げて概説する。			
2	6/27	生殖補助医療(霜田)	人工授精、体外受精、精子・卵子提供、代理出産などに触れつつ、生殖・出産に関わる諸問題を検討する。			
3	7/4	人工妊娠中絶と出生前検査(霜田)	「生命の始まりへの否定的介入」「生命の質の評価に基づく選別」について考える。			
4	7/11	遺伝子医療(霜田)	遺伝子と疾患の関連、遺伝カウンセリング、遺伝子検査ビジネスを取り上げ、それぞれの問題点を整理する。			
5	7/18	高齢者医療と終末期医療(霜田)	高齢者医療とりわけ認知症のケア、終末期における「その人らしい生の終え方」について論点整理する。			
6	7/25	安楽死・尊厳死・医師による自殺幫助(霜田)	「安らかに死を迎えること」や「死ぬ権利」の行使について、国内外の状況を踏まえて、さまざまな議論を検証する。			
7	8/1	医療倫理の対話的検討(平河)	医療倫理に対する対話的な検討方法について説明する。事例の患者・家族が抱える問題を倫理の観点から掘り下げ、検討する。[事例検討][ディスカッション]			○
8	8/8	倫理的問題事例の分析的検討(平河)	事例の倫理的ジレンマについて、当事者の希望、医療/福祉従事者の専門性などから複眼的に分析、検討する。[事例検討][ディスカッション]			○
キーワード		倫理の枠組、臨床倫理、意思決定、倫理原則、生と死		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	授業中に適宜紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート課題(霜田担当分(60%)、平河担当分(30%))、②参加点(10%)で評価する。 [①授業内容を踏まえた上で、自分なりの考えがまとめられているかをレポートの評価ポイントとする。②発言の積極性や貢献性を見る。]				
授業時間外に必要な学修		日常の業務の中で倫理的ジレンマを覚えたことがらを振り返っておいてください。				
学生へのメッセージ		倫理については絶対的に正しい考え方というものではなく、現場で起こる倫理的問題に対応するときは、どうすることが相対的に善いかを考えることとなります。この授業で、生と死に関する医療倫理の基本的知識をよく理解し、実際の問題に向き合う力を高めてください。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。